



外国出張報告書

平成 26 年 4 月 8 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 25 年 2～3 月
3. 出張目的 東北タイにおける郷土産有用樹人工林の林業経営安定化 : C

4. 成果の概要

コンケンにおいて開始したチークの成長に不向きな保水性の低い砂質土壌の改良試験について、今回の出張では乾季で気温が上昇する時期のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、ベントナイトの処理区は土壌含水率が高く、チーク苗は水ストレスを与える処理区でも広い葉面積を有していた。また、水ポテンシャルの値も高く、水ストレスを受けにくい環境であると考えられた。一方、無添加の処理区は、毎日灌水する通常灌水の処理ではチークの苗は高い成長を示したが、水ストレスを与える処理区において成長は抑制され、深刻な水ストレスを受けていた。また、幹上部の葉のバイオマスが特に少なく、水の輸送が容易だと考えられる幹根元付近の葉のバイオマスが多い傾向を示した。